

お元気ですか

南 恵子

です

ニュースを読んでご
意見をお寄せ下さい。

区議会議員

南 恵子

TEL 3790-1523



発行責任者 日本共産党品川区議会議員 南 恵子 八潮5-12-65-503

メールアドレス minami@jcp-shinagawa.com

「家具転倒防止対策助成制度の 拡充を求める」請願 否決

一言の発言もせず 自・公・民が反対

6月25日に建設委員会で「家具転倒防止」の助成を高齢者・障害者だけでなく一般世帯も対象にと求めた請願が審査され、否決されました。南は紹介議員になったので報告します。

家具転倒によるけがや死亡は大震災が起きると死亡の大きな原因になっていきます。八潮団地でも3・11のとき、家具の転倒はあちこちで発生。幸いなことにけが人や死者があつたとは聞いていませんが、何人かの知人から、「あの時、家にいたら倒れた家具の下敷きになっていたかもしれない」「夜だったら完全に下敷きになっていた」などの話を聞きます。

**家具転倒防止の取付だけが
区民の命を守る手段で**

はない 建設委員会 課長答弁

建設委員会の質疑は、共産党の鈴木ひろ子議員と無所属・みんなの吉田あつみ議員だけで、他の議員は一言も発言せず「反対」しました。

鈴木ひろ子議員は、「家具が凶器になることもあるので取り付けは必要。莫大な経費ではないことと、命を守るために全世帯対象にするべきだ」

と主張しました。

担当課長は、「自治体の責務の生命・財産を守るのは当然で否定しないが、家具転倒防止の取付だけが安全を守る手段ではないので、限られた財政の中、優先順位をつけていく」と答弁。区は家具転倒防止対策は「自助を基本とする備え」と位置付けているためにこのような答弁です。

一方、高齢者や障害者に限定していますが、福祉の視点で実施しているという説明でした。

**家具転倒防止は命を守る
対策**

自分でできる方はとくに取付付けています。しかし、経済的な理由で取付付けられない区民も多くいます。「自助でやれ」とばかりに、心を寄せない区の姿勢は残念です。（裏面に傍聴者の声を掲載しましたので、読んでください。）

港区をならえ

他区はどうなっているのか調べると、驚きました。

港区は品川区より早い時期から開始。3年後に申請が減っ

たので、呼びかけのチラシを

全戸配布すると、8000件

もの申請があったという説明

でした。命を守ることに徹底

する姿勢の違いでしょうか。

建設委員会を傍聴して

請願代表 高橋勝

6月25日に「家具転倒防止対策助成制度の拡充を求める請願」（署名202筆、追加40筆）の審議が建設委員会で行われ傍聴しました。

共産党の鈴木委員が「区民の生命・財産を守る責任があるから家具転倒防止対策の助成は大きな費用にならないと思うので全区民を対象にしてほしい」と質問。防災課長は「区は区民の生命財産を守るのは当然であり、全区民を対象にしても大きな金額にはならないが、優先順位があるので今の段階では無理である」との回答だった。また、みんなの党の吉田委員は「現在助成している要介護3以上、高齢者、障害者などちよっと大変だという方のお力添えをするという意味ではなかったかと思うがどうだったか」と質問。他の党は意見もなければ採択についての説明もなく、これが委員会の実体かと思うとがっかりした。なお、請願は共産党以外の反対で不採択となった。

品川区議会永年在職議員表彰を受けました

区議会議員の在職期間

が通算25年に達したとし

て、6月22日の本会議質

問などが終了した後、

議会の議決をもって表彰

され、表彰状をいただき

ました。（他、自民2人）

同時に、演壇から挨拶を

させていただきます。

初当選は38歳でしたが、

今は63歳になりました。

この間、後援会のみな

さんには物心両面にわた

るご支援をいただき、心

からお礼を申し上げます。

子どもたちも当時は小

学生でしたので、深夜議

会になったときは議員を

続けていけるだろうか

と不安になったのですが、

今はいい思い出です。ま

た、女性議員は南を入れ

て3人で

したが、

今は11人。

今後も、

区民の意

見を届け、

議員の仕

事に頑張

ります。



生活・雇用・子そだて

・教育など何でもお気軽にご相談ください

連絡先

南恵子区議会議員

電話(3790)1523